

ふるさと珠洲市サポーターの皆様へ

平成 20 年度からスタートした「ふるさと納税制度」。珠洲市では「美しい里山里海の自然環境の保全」と、「子供からお年寄りまでが元気に暮らせる住みよいまちづくり」の実現を目指し、皆様からお寄せいただきましたご寄附は、平成 21 年 3 月末現在 43 件 4,143,000 円に上り、多くの事業に活用させていただきました。

今回は、その一部を皆様にご報告いたします。

美しい里山里海の自然環境の保全のために

○『バイオメタン発酵施設』に活用させていただきました！

バイオメタン発酵施設とは、下水汚泥をはじめ農業集落排水汚泥や浄化槽汚泥、し尿といった有機性廃棄物に加え、生ゴミ等の 5 種類を集約混合処理し、発生したメタンガスをエネルギーとして施設内で全量活用するとともに、処理残物を乾燥させ、肥料として緑農地還元するプロジェクトです。

この施設により、下水汚泥やし尿、ゴミという、これまで別々に処理していたものを一括処理することでトータルコストを削減するとともに、最終的に緑農地還元することで、循環型社会を築くことができます。以前は、し尿を重油で燃やして処理していましたので、年間約 1,000 キロリットル（ドラム缶約 5,000 本分）の重油を燃やさずにすむことから、CO²の削減にも大いに貢献しております。

既に市内で営業運転を開始しております風力発電とあわせ、持続可能な循環型社会のモデルケースとして「自然と共生する珠洲市」を全国にPRしていきたいと考えております。



○『農地・水・環境保全向上活動支援』に活用させていただきました！

珠洲市では今でも美しく豊かな里山の自然が残っており、ゲンゴロウやサンショウウオなど日本固有の希少生物が生き続ける素晴らしい環境が保たれています。しかし、一方で過疎化、高齢化が進み手入れの行き届かない里山や耕作放棄地が増えていることも事実です。

そこで、地域ぐるみでため池や農地、農業用水などの資源や農村環境を守り、里山の自然の保持とその質の向上に努めている取り組みや環境保全に向けた先進的な営農活動に対し支援しております。

これからもこの珠洲の自然を守るべく、市内に住むみんなが一体となって誇りある珠洲の自然を永遠のものにしていくよう努力していきたいと考えております。



子供からお年寄りまでが元気に暮らせる住みよいまちづくりのために

○『市内路線バスの便利度向上計画』に活用させていただきました！



通勤や通学、買い物など、地域の「足」として大切な役割を果たしている路線バス。自動車の普及や過疎化によってこのまま利用者の減少が進むと、現状のままの運行では存続が厳しい状況となっています。しかし生活の足として、また観光の足として今後も路線を確保していかなければなりません。そこで、地域公共交通活性化協議会を組織し、今後より効率よくまた、市民のみなさんの利便性の向上を図るために市民のみなさんにアンケート調査を行いました。

また、バス利用でお買い物をすると特典をプラスするなど、バス利用を促す実験も行っております。いかに路線バス利用者を増やすか、そして利用される方々に「乗りやすくなったわ〜」「バスにさえ乗りゃどこでもいかれるねえ」など、車内に笑顔があふれるように今後皆さんに納得していただけるような運行を目指していきたいと考えております。

珠洲にいらっしゃった際には是非、市内を走る路線バスにお乗りいただいて、ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。



○『小児医療費助成』に活用させていただきました！

これからの珠洲市を担う子供達のため、また、その家庭の負担を軽減するために、医療機関で治療を受けた際の自己負担が 1 ヶ月 1,000 円を超える分について助成を行っております。入院につきましては中学校卒業まで、通院は就学前までです。医療にかかる負担を軽減し、住みやすくより子育てのしやすい珠洲市で、たくさんの子供がすくすくと育ってくれることを切に願っています。市内の子供達が元気いっぱい成長していく様はこれからの珠洲市の明るい未来の象徴でもあります。広場で遊んでいる子供達をお年寄りが目を細めて微笑んで眺めている。そんな光景を大切にしていきたいと考えております。

今後も、珠洲市サポーターの皆様のお心をお応えすべく、努力してまいりますので、引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



珠洲市長 泉谷 満寿祐

